

危機管理会議

日 時：平成 29 年 7 月 1 0 日（月） 13 時から

場 所：県庁 3 階 特別会議室

協議事項

当面想定される危機事象について

政策監からの訓示

危機管理会議等の開催状況

平成 28 年度

	開催日	内 容
1	4.1	新体制による危機管理体制の確保について
2	4.14	北朝鮮情勢を踏まえた危機管理対応について【危機管理連絡会議】
3	4.15	平成 28 年熊本地震について 北朝鮮情勢を踏まえた危機管理対応について
4	4.28	平成 28 年熊本地震について 大型連休中の危機管理体制の確保について 【熊本地震支援本部会議と合同開催】
5	5.10	デング熱、ジカ熱等蚊媒介感染症の注意喚起について マダニが媒介する感染症について 熱中症対策について【危機管理連絡会議】
6	5.30	県庁等への爆破予告に係る本県の対応について【危機管理連絡会議】
7	6.1	危機事象への対応について（政策監訓示）
8	6.10	交通死亡事故多発への対応について【危機管理連絡会議】
9	9.9	北朝鮮による核実験実施疑い事案への対応について【危機管理連絡会議】
10	11.15	県外で鳥インフルエンザ疑い発生への対応について【危機管理連絡会議】
11	12.1	高病原性鳥インフルエンザへの対応について
12	12.27	年末年始の危機事象対応に係る体制について
13	3.16	県庁 BCP について 年度末の危機管理体制の確保について

平成 29 年度

(H29.7.10 時点)

	開催日	内 容
1	4.3	新体制による危機管理体制の確保について
2	4.3	新体制による危機管理連絡体制の確保について【危機管理連絡会議】
3	4.28	北朝鮮情勢を踏まえた危機管理対応について 大型連休中の危機管理体制の確保について【危機管理連絡会議】
4	5.14	北朝鮮による弾道ミサイルの発射について 世界同時サイバー攻撃への対応について【危機管理連絡会議】
5	6.19	ヒアリの国内初確認について マダニが媒介する感染症について 熱中症の注意喚起について【危機管理連絡会議】

危機管理連絡会議：危機管理会議のもとに設置する連絡調整組織。

当面想定される危機事象

1 北朝鮮事象（弾道ミサイル発射・核実験）

- ・ 7月4日に、アメリカが「レッドライン」とする大陸間弾道ミサイル（ICBM）を発射
- ・ ICBMはハワイやアラスカを射程に収め、世界への脅威が拡大
- ・ アメリカが空母派遣を再び検討するなど、朝鮮半島で緊張が高まるおそれ
- ・ ICBMに載せる核弾頭の技術開発に向け、6回目の核実験のおそれ

2 「ヒアリ」など特定外来生物の発生

- ・ 外来種の「ヒアリ」が国内で相次いで発見され、国内定着リスクが上昇
- ・ 「ヒアリ」は強い毒をもち、刺されると重篤な症状や死亡するおそれ
- ・ 5月に国内で初めて、神戸港で陸揚げされた尼崎市のコンテナ内で発見
- ・ 繁殖能力のある「女王アリ」が大阪港（7月3日）に続き、神戸港（同5日）に発見

3 熱中症、感染症の発生

- ・ 夏に向けて気温が高くなると、高齢者や子どもを中心に、熱中症発生が増加（昨年度の本県の救急搬送人数は、416人）
- ・ 屋外や自然の中での活動機会が増え、蚊やダニによる感染症のり患も増加（本県でこれまで、マダニ感染症（SFTS）に21人が感染、うち6人が死亡）

4 九州北部豪雨災害

- ・ 7月5日の記録的大雨により、死者・行方不明者25人発生
- ・ 河川の氾濫や土砂崩れが複数の箇所が発生し、700人以上が孤立
- ・ 福岡、大分両県で、最大45万人に「避難指示」が発令
- ・ 状況の判明に伴い、今後さらに被害が拡大するおそれ（7月7日時点）

5 テロ事案

- ・ 海外ではテロ事案が頻発し、昨年7月にはバングラデシュで、日本人7人が被害
- ・ 5月の大規模サイバー攻撃では、国内で2千台が感染し、海外では病院、通信など社会インフラに支障が発生